

### ■チリ：南米初の太陽光発電プラントの建設が計画される

2009年8月5日のマスコミ報道によると、スペインのSolarpack社がチリで南米初の太陽光発電プラントを建設する計画を進めている。この計画はチリ北部のアタカマ砂漠に4,000万ドルを投じ、出力9,000kWの太陽光発電プラントを建設するもので、2010末の運転開始を目指すとしている。また、Solarpack社はこれを足がかりに、総額2億5,000万ドルを投じ、計6基の太陽光発電プラント（計画総出力6万kW）を建設したいとしている。チリ政府は、発電会社に対して発電電力量の5%を再生可能エネルギーにするように求める法案を作成するなど、再生可能エネルギーの導入を促している。